

平成29年度



# 校長室だより'17

ゆめ  
なかま  
元氣

先週は授業参観を行いました。たくさんの方々に御来校いただきました。御多用の中、ありがとうございます。休み明けの子どもたちの様子、いかがだったでしょうか。また、体育館で開催しておりました作品展、御覧いただきましたでしょうか。私も何人かの保護者の方と一緒に見ておりましたが、みなさん、作品のすばらしさに感心なさっておられました。

さて、先日、4月に行われました全国学力・学習状況調査の集計結果が新聞紙上にて発表されておりました。各県の平均値が整数で表されています。調査の領域は4つあります。国語の基本的な問題である A、国語の活用（応用）問題である B、算数の基本的な問題である A、算数の活用問題である B、の4つです。長崎県の状況と本校児童の成績を見てみましょう。なお、本校の結果につきましては、数値ではなく言葉で表現します。

	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B
全国平均	74.8	57.5	78.6	45.9
長崎県	73	56	78	43
全国順位	位	位	位	位
本校の状況	*****	*****	*****	*****

\*\*\*\*\*。ここはまだまだ、というところもあります。問題とともに紹介しましょう。

まず、算数 A の領域では本校児童は15問の設問ほとんどにおいて\*\*以上の正解率を示していますが、その中で\*\*%台と落ち込んだ問題が2問ありました。（全国は\*\*%）その中の1問がこれです。

すべての図形が平行な直線の中に描かれていますから高さは同じです。しかし、その肝心な高さが書いてないのです。それさえ書いてあれば実際に計算すればいいだけの話なのですが。

やり方その1。適当に高さを決める。例えば自分で5センチだと設定する。そうやって仮の答えを出しても解決します。アは10Cm<sup>2</sup>、2と3が5Cm<sup>2</sup>で条件に当てはまります。

やり方その2。底辺の長さと同じであれば、形は違っていても、面積は等しくなるという決まりを使うこと。2と3は形は違いますが、どちらも底辺は2Cm、高さは同じです。この2つがアの平行四辺形の面積の半分になります。そのあたりの理解が十分ではなかったかと分析しています。ちなみにもう1問は集合の問題で、少し面倒な問題でした。順序よく、与えられた条件を書き出していけば解ける問題だったのでちょっと残念に思っています。では B の活用問題にはどのような難問があったのでしょうか。次回、紹介しますが、すごいです。

**5**

平行な2本の直線を使って、平行四辺形や三角形をかきました。

下の1から4までの三角形の中で、平行四辺形アの面積の、半分の面積であるものはどれですか。すべて選んで、その番号を書きましょう。